

平成21年3月期 決算説明資料(連結)



weds CO.,LTD.

平成21年5月
株式会社ウェッズ
(ジャスダック上場:7551)



(株)ウェッズの特徴

- ・販売網：札幌～福岡まで全国12営業所において
1万店を超える自動車用品販売店と取引があり、業界では最大規模の販売力を保持
- ・物流体制：持分法適用会社(株)ロジックスに業務委託、
大型倉庫から迅速・効率的なデリバリー実施
- ・商品開発：マーケットイン方式によりお客様のニーズをいち早く
キャッチする商品開発体制を構築
クレンツェなど数多くのブランド展開
- ・資本：筆頭株主がトヨタ自動車子会社の中央精機(株)
安定的な資本構成と財務体質を保持

グループ会社事業内容

・(株)バーデン(100%出資子会社)

- ・自動車用品小売3店の経営 (安城1店・浜松2店)
- ・中央精機向け産業機械の販売
- ・福祉施設(グレイシャスビラ安城)の経営
- ・携帯電話販売店の経営(ソフトバンク3店)

・(株)スーパースター(100%出資子会社)

- ・高級品アルミホイールの製造・販売

・ウェッズ ノースアメリカ インク(100%出資子会社)

- ・北米での当社商品(ホイール、GT用品等)の販売

・(株)ロジックス(34%出資持分法適用会社)

- ・当社商品の保管・配送業務
- ・中央精機商品の検査・輸送・荷役業務

業績概要

(単位:百万円)

	19/3期		20/3期		21/3期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	23,476	100	23,457	100	21,447	100	△8.6
売上総利益	4,602	19.6	4,765	20.3	4,431	20.7	△7.0
営業利益	474	2.0	475	2.0	278	1.3	△41.5
経常利益	515	2.2	526	2.3	305	1.4	△42.1
当期純利益	312	1.4	300	1.3	111	0.5	△62.9

【21/3期 年間業績に関して】

平成20年7月29日第1四半期決算発表時点で、平成20年9月中間期及び年間の業績に関して下方修正を発表しました。その時点では、下期には販売価格改定効果を見込んでおりましたが、その後サブプライムローンに端を発した世界不況の影響等を受けて消費が冷え込み、その結果、売上が当初予想を下回る結果となり、本年4月30日に業績予想の下方修正を再度発表するに至り、最終的に上記のような決算内容となりました。

財務体質・収益性

(単位:百万円)

	19/3期	20/3期	21/3期	前期比(差)
総資産	13,123	12,265	11,548	94%
純資産	6,655	6,510	6,589	101%
有利子負債	3,937	3,277	2,957	90%
自己資本比率	50.7%	53.1%	57.1%	4.0%
有利子負債比率	30.0%	26.7%	25.6%	-1.1%
1株当り純利益	70円	67円	25円	37%
1株当り純資産	1497円	1,464円	1,493円	102%
売上高経常利益率	2.2%	2.3%	1.4%	-0.9%
純資産利益率	4.7%	4.6%	1.7%	-2.9%

【主要増減要因】

- (1) 総資産減少: 売掛金の減少により、前期比94%に減少しました。
- (2) 有利子負債減少: 社債の買入償却により前期比90%に減少しました。

キャッシュフロー概要

(単位:百万円)

		19/3期		20/3期		21/3期		前期比
キャッシュフロー	営業活動	▲ 782		1,186		819		69%
	投資活動	▲ 441		▲ 726		▲ 252		—
	財務活動	428		▲ 717		▲ 409		—
	計	▲ 795		▲ 257		156		—
B / S 主要残高	現金預金	747	0.4	489	0.3	646	0.4	132%
	売上債権	3,653	1.9	3,729	1.9	2,942	1.6	79%
	商品等在庫	2,734	1.4	2,637	1.3	2,587	1.4	98%
	固定資産	4,933	2.5	5,026	2.6	4,899	2.7	102%
	買掛債務	1,038	0.5	1,247	0.6	907	0.5	97%
	借入金・社債	3,937	2.0	3,277	1.7	2,957	1.7	90%

【主な要因】

- (1) 営業活動: 売上債権減少等により819百万円の営業資金を確保しました。
- (2) 投資活動: 自動車関連卸売事業及び福祉事業の拡充のための建物等取得により252百万円の投資資金増加となりました。
- (3) 財務活動: 社債買入消却及び借入金返済等外部負債の減少により▲409百万円となりました。

セグメント別売上高

(単位:百万円)

	19/3期		20/3期		21/3期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
自動車関連卸売事業	19,915	85%	18,462	79%	17,546	82%	95%
自動車関連小売事業	1,496	6%	1,771	8%	1,628	8%	92%
開 発 事 業	1,135	5%	2,120	9%	1,204	6%	57%
福 祉 事 業	387	2%	454	2%	484	2%	107%
携帯電話代理店事業	738	3%	841	4%	727	3%	86%
消 去	-195	-1%	-192	-1%	-144	-1%	-
連 結 計	23,476	100%	23,457	100%	21,447	100%	91%

【主要な前期との差異理由】

- (1)自動車関連卸売事業： 高級・廉価アルミホイールの減販により前年比95%となりました。
- (2)自動車関連小売事業： 個人消費の低迷により前年比92%となりました。
- (3)開発事業： 昨秋以降中央精機(株)向け機械の納入が減少し前年比57%となりました。
- (4)福祉事業： 老人ホーム入居率が概ね満床となり前年比107%となりました。

セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	19年3月期	20年3月期	21年3月期	前期差
自動車関連卸売事業	363	329	238	-91
自動車関連小売事業	20	-38	-25	13
開発事業	38	119	-7	-126
福祉事業	40	54	55	1
携帯電話代理店事業	13	9	14	5
消去	-2	0	2	2
連結計	474	475	278	-197

【主要な前期との差異理由】

- (1)自動車関連卸売事業： 昨秋以降の売上高減少により前期比91百万円の減益となりました。
- (2)自動車関連小売事業： 販売管理費及び仕入コスト削減により前期比13百万円の改善となりました。
- (3)開発事業： 売上高の大幅減少により前期比126百万円の減益となりました。
- (4)福祉事業： グレイシャスビラ安城の事業が軌道に乗り前期並みの利益を確保しました。

第2四半期・年間業績予想

(単位:百万円)

	21年9月期	前年同期比	22年3月期	前期比
売上高	8,600	94%	21,500	100%
営業利益	10	—	450	162%
経常利益	10	18%	450	148%
当期純利益	10	48%	210	189%

大変厳しい経済環境が続いておりますが、平成22年3月期の年間業績予想は、下記に掲げる経営課題に対処しながら、着実な利益体質強化に取り組んで参ります。

- 自動車関連卸売事業
 - (1) 高中級アルミホイール商品開発力の強化
 - (2) 営業力の強化及びシステム構築
 - (3) 商品管理の強化
 - (4) 高級品3ピース製造販売の拡充
- 自動車用品小売事業の収益性改善と規模拡大
- 福祉事業の拡充
- 輸出売上高の確保

トピックス

・自己株式を市場より買付

昨年10月より、自己株式の市場買付を実行中です。
なお下記の通り、本年4月に取得枠拡大と取得期間を延長しています。

	(平成20年10月)		(平成21年4月)
・取得株式(上限)	60,000株	⇒	140,000株
取得金額(上限)	30,000,000円		50,000,000円
取得期間	平成20年10月29日 ～平成21年5月29日		～平成21年7月29日

当社の平成21年3月期決算の詳細な内容については、
当社ホームページ「IR情報」に掲載している「決算短信」等も
あわせてご覧下さい。

URL: <http://www.weds.co.jp>